

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	車などの交通量が多い表通りに面しており、安全のため玄関は施錠管理している。	日中は玄関の施錠をせず開放する(9:30～17:30)	一つ目の段階として玄関にチャイムを設置し、職員全員が常に全体把握に努め、チャイムが鳴る前に気付ける支援を行っていく。外出要求のある方に対しては、行動パターンを把握し予測したケアを行う。ホールは常に見守りできるよう、職員間での連携を図り見守りを強化していく。	6ヶ月
2	35	災害時に備えて、実際の避難訓練が実施できていない。	年2回、入居者と共に避難訓練を実施する。	避難訓練のマニュアルを作成し、デューサービス・小規模多機能など他事業所との連携を図り、計画し実施していく。	12ヶ月
3	40	食の楽しみを大切にするコミュニケーションの工夫や、樹脂製のワンプレート皿や湯飲み等についての検討が望まれる。	食事が楽しいものとなるよう食器を樹脂製から陶器に変更する。	食器類は樹脂製から陶器へと変更する。食事時のコミュニケーションとして、献立や旬の食材など会話に盛り込み楽しく食事できるよう支援していく。	6ヶ月
4	45	掃除用具や洗濯物が雑然と置かれているなど、入浴を楽しめる雰囲気欠ける面がみられる。	入浴を楽しめる雰囲気を作る。	掃除用具や洗濯物など、浴室内の整理を行い、飾り付けや入浴剤などで入浴を楽しめる雰囲気作りを行う。	3ヶ月
5	52	入居者主体の暮らし方に目を向け、より居心地の良い共用空間づくりへの検討が望まれる。	利用者様の気分に合わせて、ゆったりとくつろぐことができるような共用空間を作る。	パテーションなどを設置し居心地よく過ごせるよう配慮し、季節によって造花の飾り付けを行う。また、机やイスの配置換えを行い、利用者同士の交流しやすい空間作りや、面会に訪れる家族様とゆったりくつろげるよう談話スペースを作る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。